

●4大注目大会を詳報!

12/30 UFC 141

12/31 元気ですか!! 大晦日!!

1/8 修斗

1/14 UFC 142

[コング格闘技]

March 2012

No.237

特別定価

980YEN

3

[戦い終えて]

青木真也
北岡 悟

いきなり年間ベストバウト!
上田将勝 vs 堀口恭司

アリスター、レスナーを破壊!
2.26 UFC日本大会観戦ガイド

[永久保存版・前篇]

UFCを読む。

1993-2012 UFC 1-144

全199大会、一挙掲載!

[インタビュー]

岡見勇信/秋山成勲

日沖 発/五味隆典

水垣偉弥/福田 力

高谷裕之/川尻達也

ビビアーノ・フェルナンデス

三崎和雄/佐藤嘉洋

■追悼

真樹日佐夫/宮下トモヤ

[完全減量マニュアル]

間違いだらけの減量法

平成20年12月18日発行 発行所 格闘技マガジン編集部 東京都港区新橋3-10-10



THE DAWN
of a New Era in MMA
MMA新時代の夜明け。

亀池聖二郎=文・写真
text & photographs by Kameike Shojiro

[1・8 プロ修斗]

後楽園ホールが揺れた大激闘! 超新星を退けた友情秘話とは?

上田将勝 × 越智晴雄

「越智君と一緒に出られる修斗は、
今回が初めて最後だったから……」

日本格闘技界2012年第一弾興行となった、1.8プロ修斗。大きな注目を集めた上田将勝vs堀口恭司の一戦は、大激闘の末に上田が超新星を下した。上田がこれまでになく修斗での白星にこだわった理由は、すでに発表されているベラトル参戦と、チームメイト越智との友情だった。

こんな感覚を味わったのは、いつ以来だろうか? まさに文字通り、後楽園ホールが揺れた。修斗のパウンドフォーパウンドと呼ばれる上田将勝と、修斗のみならず日本MMAの超新星堀口恭司の一戦は、戦前から多くの注目を集め、壮絶な死闘の末、上田が辛くも判定勝ちを収めている。

「とにかく強かったです……」
上田は、いつもの肩透かしを喰らってしまふような声でつぶやいた。

そんな上田が、あれほどまでに鬼気迫る表情を見せたのもまた、いつ以来だろうか。アマチュア時代から思い出しても、きっと初めてではないかと思う。

そう聞くと、上田の語気が荒くなった。「絶対に負けられなかったんです。今回、先にオファーをくれたのは修斗でした。でも、そのあとにベラトルから話をもらって、次の堀口戦を最後の修斗にしようと思ったから。自分と契約してくれるベラトルに、負けて参戦するなんて絶対に嫌だったんです。」(上田)

そんな上田には、盟友と呼べる男がいる。上田のブログ登場回数は、おそらく他の追随を許さない。上田のブログは彼のためにある、といっても過言ではない。

ベラトル愛媛所属、越智晴雄。学生時代に空手とボクシングを経験した越智は、2006年、総合格闘技を学ぶために地元の公共施設で練習を行っていたパラエストラ愛媛に入門。1年後、全日本アマ修斗を経てプロデビューする頃には、さらなる飛躍を求めて上京していた。

「僕が入った頃、もう上田さんはランキングに入っていたのかな? 僕はプロデビューする前かした直後だったので、最初は全く練習したことはなかったです。でも練習してみると、とにかく強いし、人間的にも尊敬している先輩なんです。」(越智)

そんな言葉を発する後輩に、照れながらも訝しげな視線をぶつける上田。両者の間には、確かな信頼関係が見て取れる。

二人はもともと同じ階級(修斗フェザー級)だったこともあり、自然と一緒に練習するようになる。「越智君はすごく懐っこくて、人の懐に入ってくるのが上手いんですよね(笑)」と笑いながら、反対に恐ろしいエピソードも紹介してくれた。